

ポスター発表プログラム

(演題番号の A はアミノ酸関連、P はペプチド、タンパク質関連を示します。)

- P01A 土居雅子¹、山岡一平¹、中山満雄¹、菅原邦生²、吉澤史昭² (¹(株)大塚製薬工場研究開発セ、²宇都宮大農) **イソロイシン投与による血糖値低下作用とそのメカニズムについて**
- P02A 栗原重一¹、平岡丈典¹、阿久津昌久²、助川英治¹、柴原 進¹ (¹味の素(株)健康基盤研、²味の素(株)健康推進セ) **シスチン/テアニンのヒト風邪発症予防効果 - 社内ヒトボランティア試験結果 -**
- P03A 中村英志¹、天ヶ瀬紀久子²、蓮村麻衣¹、サンガブリエル・アナ¹、畝山寿之¹、竹内孝治²、鳥居邦夫¹ (¹味の素(株)ライフサイエンス研、²京都薬科大・薬物治療) **ピロリ菌誘起胃炎に対するグルタミン酸添加食の保護効果**
- P04A 桑原知美、河又康子、小玉りほ、米田純也、鳥居邦夫、坂井良成 (味の素(株)ライフサイエンス研) **食事性グルタミン酸の栄養素としての役割 グルタミン酸欠乏食摂取によるロイシン酸化亢進**
- P05A 常松雅子¹、有田宏行¹、池内眞弓²、小山智之²、矢澤一良² (¹明治乳業(株) 食品開発研、²東京海洋大学大学院) **アミノ酸混合物、カルニチン、コエンザイム Q 10 の併用 (スーパーヴァーム) の持久力向上効果**
- P06A 小松美穂、森下幸治 (協和発酵工業(株) ヘルスケア商品開発センター) **L-オルニチン塩酸塩の連続摂取による体感効果**
- P07A 亀田菜央子¹、辛基玉¹、清原夏樹¹、落合将之²、池田武史²、森下幸治²、森谷敏夫¹ (¹京大大学院・応用生理、²協和発酵工業(株) ヘルスケア商品開発センター) **L-ヒスチジン経口摂取がヒトの自律神経活動、エネルギー代謝に及ぼす影響**
- P08A 小関 誠¹、ジュネジャ・レカ・ラジュ¹、マーシャル・ブラム・ジェームス² (¹太陽化学(株)ニュートリション事業部、²マーシャル・ブラム, LLC) **サンテアニンのストレスおよび更年期障害に対する効果**
- P09A 千葉 亮、川瀬一郎、西村忠洋、石井二三夫 (エスエス製薬(株)Life Science Institute) **-アミノ酸の B16F0 メラノーマ細胞におけるメラニン生成抑制作用**
- P10A 川瀬一郎、千葉 亮、西村忠洋、石井二三夫 (エスエス製薬(株)Life Science Institute) **グリシンによる in vitro メラニン生成抑制及び in vivo 色素沈着抑制作用**

- P11A 王堂 哲、田辺康治 (ロンザジャパン(株)ニュートリション事業部) **多機能アミノ酸誘導体としてのL-カルニチン**
- P12P 本多裕陽¹、星野躍介¹、河原崎正貴¹、高橋義宣¹、本村亜矢子¹、杉本正裕¹、江成宏之¹、許慈芳²、王銘富³、山本 茂⁴ (¹(株)マルハニチロホールディングス中央研、²徳島大・院・国際公衆栄養学、³静宜大・食品栄養学、⁴お茶の水女子大・院・人間文化創成科学) **アンセリン高含有サケエキスの生理機能について**
- P13P 高橋義宣¹、江成宏之¹、多田元比古¹、河原崎正貴¹、竜田邦明²、竹野隆太³、西谷真人⁴、梶本修身⁵ (¹(株)マルハニチロホールディングス中央研、²早稲田大理工学術院、³(株)総合医科学研究所、⁴総医研クリニック、⁵大阪市立大・院・医) **サーモンペプチドの降圧効果とACE阻害活性**
- P14P 大澤一仁¹、薩秀夫²、大木浩司¹、高野俊明¹、清水 誠² (¹カルピス(株)健康・機能性食品開発研、²東京大・院・農学生命科学) **カゼイン由来血圧降下ペプチドの哺乳類消化モデルを用いた消化管内での生成可能性および分解抵抗性の検討**
- P15P 中村宗一郎¹、近藤葉月¹、柴 岳郎²、山崎利喜男²、ナカイ・シュウリョウ³ (¹信州大農、²日穀製粉(株)開発本部、³プリティッシュ・コロンビア大食料・栄養・健康部門) **オートグロブリンペプチドの抗高血圧効果**
- P16P 沖浦智紀¹、大石泰之¹、神尾美智子¹、松本一朗²、阿部啓子²、森松文毅¹、石原昭彦³ (¹日本ハム(株)中研、²東京大・院・農学生命科学、³京都大・院・人間・環境学) **老年性骨粗鬆症モデルマウスを用いた鶏由来コラーゲン加水分解物の骨密度および筋機能改善効果の検証**
- P17P 首藤典正¹、田中美登里²、野村義宏² (¹日産化学工業(株)、²東京農工大) **ヌクレオプロテインの紫外線誘発マウス皮膚障害に対する改善作用**
- P18P 木島佳子、岩附 聡 (アサマ化成(株)) **乳清タンパクによる腸内細菌叢の改善**
- P19P 山岡一平¹、中山満雄¹、三木崇範²、横山俊史²、竹内義喜² (¹(株)大塚製薬工場研究開発セ、²香川大・院・医) **食餌性タンパク質はラットの体温とエネルギー代謝の概日性変動を制御する**